



# 食育だより

10月の給食目標

「好き嫌いをなく食べよう」

令和2年10月14日発行

小美玉市立小川南中学校



## 「食べる」について考えよう！

10月16日は、国連が定めた「世界食糧デー」です。日本では2008年から10月を「世界食糧月間」としてNGO（非政府組織）やNPO（特定非営利活動法人）、国連機関が共同で情報発信を行っています。世界の食糧事情について知り、私たちが普段当たり前に行っている「食べる」について考えましょう。

## 世界の食糧事情

世界では全ての人々が十分に食べられるだけの食糧は生産されていると言われていたが、6億9000万人が慢性的な栄養不足といわれています。地域別に見ると、人数ではアジアが一番多く、人口に占める割合ではアフリカが深刻な状況です。

アジアやアフリカの飢餓に直面している人々の多くは、農村部に住み、小規模な農家を営んでいます。自分たちで作物を育てているにも関わらず、天候不順が続くと収穫に影響するため、安定した収入を得ることも難しくなり、食べることももちろん、病院や学校へも行けなくなるなど、生活全般に影響があります。

## たくさん捨てている私たち

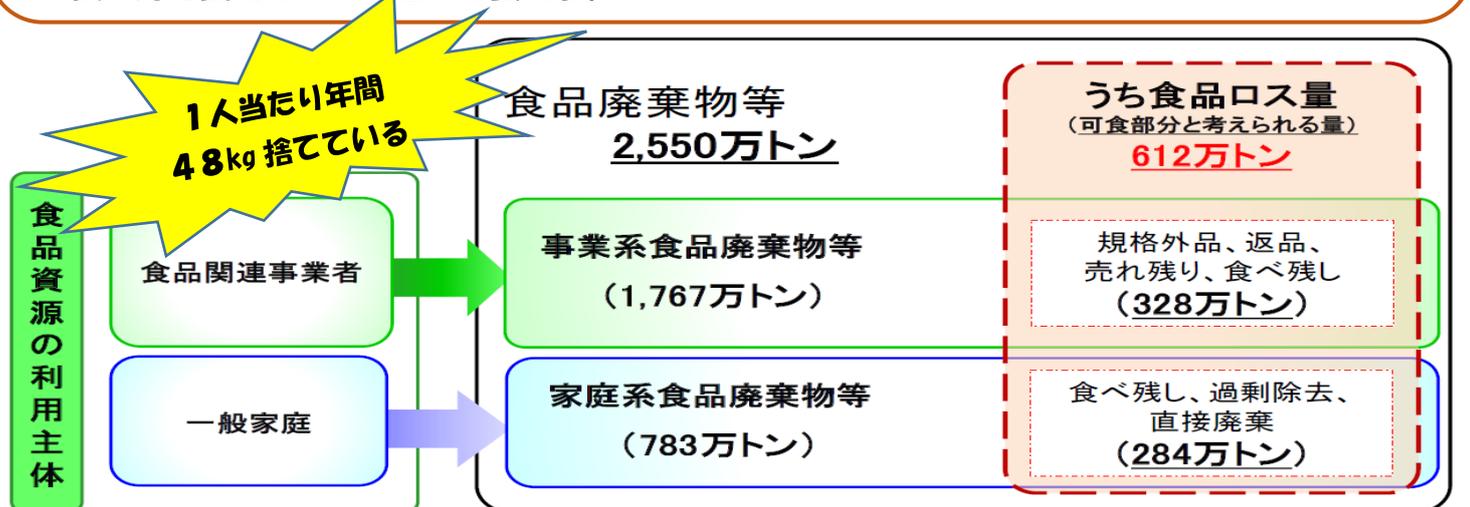


世界では毎年、生産されている食料の3分の1にあたる13億トンが捨てられています。日本のような先進国では「食べ残し」や「賞味期限切れ」など消費段階で捨てられる食べ物が多いという特徴があります。一方、開発途上国では同じ時期に農作物がたくさん収穫できても、「適切に保管できない」「加工するための技術が十分でない」「適切に運ぶための手段やガソリンを買うお金がない」などの理由で、必要な人に届く前に無駄になっています。

## 日本では・・・

日本の国の食糧自給率は昨年度より1ポイント上昇したものの、わずか38%です。国内で生産されたものだけでなく、わざわざ外国から輸入した食品も食べずに捨てられてしまうのは、本当にもったいない話です。

本当は食べられるのに捨てられてしまうことを「フードロス」と言います。フードロスは、資源を無駄にするだけでなく、温室効果ガスの排出量を8%も増やしてしまいます。今後私たちは地球に優しい食べ方に変えていく必要があります。



例年10月に実施されている学校保健委員会の給食視察ですが、本年度はまだ実施の予定がありません。食育だよりを通して、南中の給食時間をお伝えします。



～おうちの人にも知ってほしい～

## 小川南中学校の給食時間



### ●給食が配られるまで

給食時間はコロナウイルス感染症予防対策のため、授業と同様に間隔を置いて前向きの給食を実施しています。給食時間になると、放送委員会による手洗いの音楽とともに手洗いタイムが始まります。

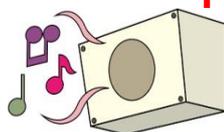
給食当番は手洗いと消毒をして給食の準備にとりかかり、給食委員会の生徒たちは給食当番の服装や当番以外の12時40分の着席をチェックします。

給食の配膳は1列に並んで、順番に取りに行きます。最近では、1年生の配膳のスピードも速くなってきました。そして「いただきます！」の挨拶で、マスクを外し食べ始めます。



### ●給食時間は静かに放送を聞きます

給食は、できるだけ話をしないで食べます。聞こえてくるのは放送委員会が読み上げる「たべもの教室」やお知らせ、生徒会のメンバーによる「みなみラジオ」などです。



### ●南中の給食の残量は どうして少ないの？

和やかな雰囲気の中で、男女問わずおかわりをしています。小川南中学校の給食の残量は、市内で最も少ない状況です。2・3年生はほとんど残らず、1年生の残量も減ってきました。

給食当番が上手に配っても多少の配り残しが出た時は、トングやお玉の使い回しを避けるため、担任の先生が配ってくれています。

### ●どうして残さず食べるの？

フードロスをなくすことはもちろんですが、学校給食は成長期に必要な栄養素を摂取できるように、細かく計算されて作られているからです。

また、食事を作ってくれる人たちは、「おいしく作りたい！残さず食べてほしい！」といつも思っています。その気持ちに少しでも応えられる人になれば素敵ですね。

～食べれば栄養になり成長につながりますが、捨てればゴミです～

無理に食べる必要はありませんが、好き嫌いを少しでもなくし、体のために考えて食べる人になってほしいと願っています。

### ●後かたづけも <sup>すばらしい</sup>◎！！

南中学校の給食時間の素晴らしさは、後片付けにもあります。きちんと並んだお玉やトングはもちろんですが、配膳車への積み込みも全クラス決められた位置に戻して給食が終了します。これからもみんなでがんばりましょう！

### 給食センターから視察に来ました

給食センター管理栄養士2名と美野里中学校栄養教諭の先生方が、“小川南中学校の給食は残量が少ない”ということで、9月23日に視察に来られました。

給食委員会の活動も含め「素晴らしい給食時間」とお褒めの言葉をいただきました。さすが南中！！



10月13日の  
2年1組の食缶は  
今日も空っぽ！！

